

区分・種別	県指定有形文化財(建造物)		
名称	みこし 神輿 3基		
所在地	今治市大三島町宮浦		
所有者	大山祇神社	管理団体	
指定年月日	昭和29年11月24日		
解説	<p>この神輿は社伝によれば室町時代中期の作と伝えられ、その外形は150.3cmの正方形で総高181.8cm、全長387.8cmの担棒がついている。四隅は角柱、周囲高欄付きで四方に鳥居を設けている。屋根は宝形、四隅に蕨手^{わらびて}をつけ、上部には、1座は鳳凰^{ほうおう}を、他の2座はいずれも宝珠^{ほうじゆ}を付している。</p> <p>高欄と鳥居は朱の漆塗りで、その他は全部黒塗りで仕上げである。要所は飾金具で装飾されており、現代の神輿に比べて極めて簡素な造りである。しかし、室町時代の高度な工芸の手法がうかがわれ、県下でも最優秀のものとされている。</p>		

